

指導と評価の一体化を明確にした授業づくり

高等学校・球技（テニス）			

1. 指導と評価の計画 高等学校 第2学年 12時間 領域 球技 単元（種目） テニス

時間	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習 I 1時間	○オリエンテーション ・学習、単元の目標やその歴史、特性、ルール等を知る。 ・学習ノートの記入方法等を知る。 ・ラケットに慣れる。（グリップの握り方、ボールリフティング等）				①テニスはラケットを用いて、ネットを挟み攻防を楽しむ特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②テニスはラケットを用いて、ネットを挟み攻防を楽しむ特性があることについて、具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。
学習 II 6時間	*個人的技能を高める。 ●ペアの決定→グループの設定（4～5ペア） ●グラウンドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなど個人的技能を身に付ける。 ・基本的な動きやフットワークの習得 ●簡易ストロークゲーム ・基本的技能を駆使し、力をセーブすることにより、ラリーを連続して行うことができる。 ・個人的課題の確認と改善 ・グループの技能向上に向けた課題、目標の設定 *ダブルスにかかわる技能を習得する。 ●ダブルスによる簡易ゲーム ・コンビネーションプレー等のパートナーとの連携 ・ダブルスにおける自己の役割理解とルールの把握	①練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に注意しようとする。 ②練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。 ②テニスの個人的技能に着目して、ラリーの応酬ができるテニスの楽しさを味わおうとする。 ③テニスの個人的技能に着目して、ラリーの応酬ができるテニスの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ③練習やゲームで、自分の役割を果たし協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 ③練習やゲームで、お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。	①練習やゲームから、自分の課題を見つけている。 ③練習やゲームから、自分に適切で具体的な課題を見つけている。 ②練習やゲームから、課題を解決するための方法を選んでいる。 ③練習やゲームから、課題を解決するための具体的な方法を見付けている。 ③自分の課題をとらえ、練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③発見した課題に合わせて、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。	①ラケットを使い、ボールをコントロールすることができる。 ③ラケットを使い、ゲームにつながるようにボールをとらえコントロールすることができる。 ②グラウンドストロークの動作ができる。 ③相手の打球に応じて、自分のねらった方向に打ち分けることができる。（フォアハンド・バックハンドのスムーズな使い分け） ③サービス及びレシーブを相手コートに入れることができる。 ③コースをねらって、サービス及びレシーブができる。 ④ボレー・スマッシュ・ロビングの動作ができる。 ③相手の動きや打球に応じて、ボレー・スマッシュ・ロビングができる。	②テニスの技能を高める合理的な練習法について、具体例を挙げて説明している。 ③テニスの技能を高める合理的な練習法について、具体例を挙げて説明している。 ③テニスに必要な個人的な技術について、言ったり、書き出したりしている。 ③テニスに必要な個人的な技術について、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。
学習 III 2時間	*相手の動きや打球に応じた作戦を立て、ダブルスのゲームができる。 ●グループ内練習ゲーム ・ゲームを通して個人、ペアの課題を見つけ克服する。	④審判の判定や指示に従い、結果を受け入れようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。	④技術の段階に応じて、攻防に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ③技術の段階に応じて、攻防に必要な練習法を見付けて、作戦を立てたりしている。	⑤パートナーとの連携、コンビネーションプレーができる。 ③相手の動きや作戦に応じて、コンビネーションプレー選んでできる。	④基本的なルールやゲームの運営の仕方について言ったり書き出したりしている。 ③基本的なルールやゲームの運営の仕方について具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。
まとめ 3時間	●ペア対抗ダブルスリーグ戦（公式戦） ・ルールを把握し審判法を学ぶ。お互いに協力しながらゲームを運営する。 ・人の動きやゲームを観察し、自らの技能向上に役立てる。 ・練習、ゲームを振り返り、総括する。				
評価方法等	（ ）内の方法を手がかりに、例えば次のような観察の様子や記述の内容から「おおむね満足できると判断される」状況かどうかを評価する。	①練習やゲームの場面で、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に配慮している。等（観察） ②練習・ゲームの場面で、ラリーが続くように個人的技能に着目して取り組み、特性を楽しもうとしている。（観察） ③仲間と協力して、教え合ったり励まし合ったりしようとしている。（観察） ④ゲームでのフェアプレーや反則行為に対するの自己申告、審判のジャッジに対する発言等により、相手を尊重している等（観察）	①自分の課題を相手との比較から見付けたり、記述したりしている等。（観察、学習ノート） ②目標設定した際、解決方法を具体的に記述している。（学習ノート） ③自分やパートナーの課題をもとに、練習方法の見直しをしたり、練習の仕方を工夫している。（観察） ④ゲームに向けて、選んだ作戦を具体的に記述したりしている等（観察、学習ノート）	①練習やゲームの際、ラケットをうまく使いボールの行方をコントロールしていることを具体的に記述している等（観察、学習ノート） ②練習やゲームの際、フットワークをうまく使いグラウンドストロークの動作で相手側にボールを返している。（観察、評価テスト） ③練習やゲームの際、サーブでねらったところに入れている等（観察） ④練習やゲームの際、攻撃場面による動きができていいる等攻撃場面による動きを具体的に記述している等（観察、学習ノート）	①テニスの特性を「ラケットをうまく使ってラリーを続けたり、一連の動作をうまく行う楽しさ」などを言ったり記述したりしている等（観察、学習ノート） ②配付した資料の内容や各技能に関連した練習法などを言ったり、記述したりしている等（観察・学習ノート） ③「フォアハンドストロークの動き」などを言ったり、記述したりしている。（観察、学習ノート） ④ゲーム進行のコールやサービスの方法などを言ったり、記述したりしている。（観察、学習ノート、評価問題）

2. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
内容のまとめりのことの評価規準	球技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスの個人的技能やダブルスでの技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとする。 ・ダブルスにおける自分の役割を自覚し、責任を果たしたり、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 ・練習やゲームで、審判の判定や指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとする。 ・施設や用具の安全を確かめ、健康・安全に留意しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やダブルスのチームの能力に応じた課題を設定し、その課題を解決するための適切な練習の方法を選んだり、見付けたりするとともに、シングルス及びダブルスにおける技能について、相手との攻防に合った作戦を立てたり、練習やゲームの方法や新しい課題を見付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やダブルスのチームの能力に応じて、テニスの特性に応じた技能を身に付け、シングルス及びダブルスのゲームをすることができる。また、個人的技能やダブルスでの技能を高め、新たに身に付けた技能で攻防を展開することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスの特性に応じたシングルス及びダブルスにおける技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、テニスに必要なルール及び競技会の企画や運営の仕方について、書き出したり、具体例を挙げたりしている。
学習活動における具体の評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ①技能の向上を目指して、積極的に練習やゲームに取り組み、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとする。 ②仲間と協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている。 ③練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとしている。 ④審判の指示に従い、勝敗の結果を受け入れるなど、マナーを遵守しようとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自分やパートナーの能力を的確に把握し、その課題に応じた効果的な練習の仕方を工夫したり、見付けたりしている。 ②練習やゲームを通して、相手の動きや打球に対応した作戦を立てている。 ③自分の活動を振り返り、次回の目標を設定している。 	<ol style="list-style-type: none"> ①既習の技能を活用して、相手の動きや打球に応じた対応（返球）ができる。 ②ダブルスのコンビネーションプレーなど連携した動きができる。 ③相手の動きや打球に応じた作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①テニスの特性や個人的技能等について、言ったり書き出したりしている。 ②ダブルスのコンビネーションプレーなど連携等について、言ったり書き出したりしている。 ③テニスにおけるマナーや正しい審判法、ゲームの運営などについて、言ったり書き出したりしている。

体育・保健体育科学習指導案(時案)

1 単元名 球技 (テニス)

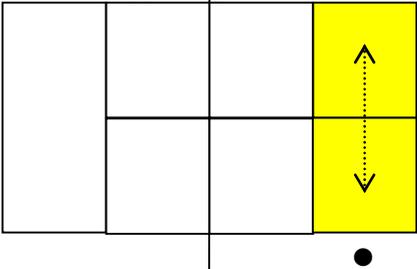
2 単元の目標

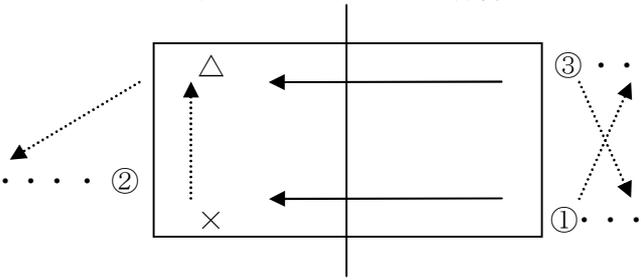
- ネットをはさんでラケットでボールを打ち合うことの楽しさや喜びを味わえるよう、自己の役割を自覚し、その責任を果たして、互いに協力して練習やゲームに取り組めるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームを行えるようにするとともに、勝敗に対しても公正な態度がとれるようにする。
- 自分やパートナーの能力を的確に把握し、例示された技能習得に向けた課題や目標を設定し、その課題解決に向けた計画的な練習やゲームの仕方を工夫することができるようにする。
- 既習の技能を活用して、相手の動きや打球に対応した作戦を立て、練習やシングルス及びダブルスのゲームができるようにする。
- テニスの特性や個人的技能、ダブルスにおけるコンビネーションプレーなどについて理解できるようにする。また、正しい審判法やゲーム運営などについての知識を身に付けさせる。

3 評価規準 (別紙様式 2-2)

4 展開例 (4時間目 / 12時間)

- 本時の目標：フォアハンド及びバックハンドによるストロークの切り替えの動きを身に付け、正確に相手コートに返球するとともに、ラリーの継続を楽しむ。

	学習内容・学習活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
はじめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ◆集合及びあいさつ(4コート実施。各コート8～10名) <ul style="list-style-type: none"> ・整列、あいさつ、出欠点呼 ◆準備運動及び補強運動(各コートグループ毎に実施) <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング(コート回り) ・ストレッチ、体操 ・フォームづくり(グランドストローク) ・ラケットとボールに慣れる運動 ◆本時の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとしたあいさつを行わせ、授業への切り替えをさせる。 ・生徒の健康観察を行う。 ・目的に応じた準備運動及び補強運動等を正確に行わせる。 ・前時までの課題を指摘し、本時のねらいを明示する。 	<p>【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合状況、用具等の準備協力、準備・補強運動等の動きを観察。 ・仲間と協力して積極的に授業に取り組もうとしている。(関・意・態) ・健康や安全に留意して授業に取り組もうとしている。(関・意・態)
なか I 8分	<ul style="list-style-type: none"> ◆前時の復習(ショートテニス) <ul style="list-style-type: none"> ・コートを1/4分割し、ショートテニスを実施。ラケットを短く持たせ、力をセーブしながらラケット面を安定させて、ペアでラリーを継続する。  <ul style="list-style-type: none"> ・ワンバウンドもしくはボレーでラリーを継続する。ダブルハンド(両手打ち)でラケット面を安定させる。 ・ペアの課題を相談したり、教えあったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・力をセーブし、相手が返球し易いところへ、コントロールできるように指導助言する。 ・あくまでも、ラリーを継続することのねらいを強調する。 ・パートナーの技能を把握し、教えあうなど協力して練習するよう指導助言する。 	<p>【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分やパートナーの能力に応じて、課題を明確にし、その解決を目指して、練習の仕方を工夫している。(思・判) ・ねらいを理解し、教えあうなど、相手と協力して練習に取り組もうとしている。(関・意・態) ・力を押さえて、ラケット面を安定させ、返球することができる。(技)

	学習内容・学習活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
な か II 10 分	<p>◆フォアハンド及びバックハンドによるストローク練習</p>  <p>①から出されたボールを②は×位置でフォアハンドで返球。③は、②の返球後、すぐに△の位置へ球だし。 ②は返球後、すぐに△へ移動し、バックハンドで返球する。</p> <p>※ ストローク練習者は②の後ろに並び待機。 △で返球後、②の列の後ろに戻る。(ローテーション)</p> <p>※ 球だしは、①・③に均等に分かれて一列で待機。①の球だしの後、返球されたボールを拾ってから③の列に移動。③からは①列へ移動。(ローテーション)</p> <p>※ 5分間でストローク練習と球だしを交替する。</p>	<p>・練習のねらいを強調し、ていねいな球だし、返球を指導助言する。</p> <p>・上手な生徒を見つけ、示範させるなど、技術的なポイントを明確に指示する。</p> <p>・互いにポイントを確認しながら教え合う学習を進めさせる。</p> <p>※あまりにも技術レベルの低いと思われる生徒を抽出し、個別指導を行う。</p>	<p>【観察】</p> <p>・ねらいを理解し、教えあうなど、グループ内で協力して練習に取り組もうとしている。(関・意・態)</p> <p>・練習を円滑に進めるために、練習の仕方やメンバーの配置等を工夫し取り組もうとしている。(思・判)</p> <p>・既習の技能を活用し、相手の動きや打球に応じた対応(返球)ができる。(技)</p> <p>・フォアハンド及びバックハンドを選択して返球することができる。(技)</p> <p>・返球ボールの処理など、コート内の安全に留意して練習しようとしている。(関・意・態)</p> <p>・グループ内で協力して、コート整備や道具の後片づけをしようとしている。(関・意・態)</p>
12 分	<p>◆グループによるストロークラリー</p> <p>・各グループで2つに分かれて、コートの両サイドに位置する。</p> <p>・各人1球の返球とし、ボール返球後はすぐに列の後ろに移動し、ローテーションしていく。</p> <p>・ラリーを継続することをねらいとし、相手に取りやすいボールを返球する。</p> <p>・グループで課題を見つけたり、技術を教えあったりする。</p> <p>・ラリーが継続することの楽しさを味わうとともに、仲間と励まし合ったり、声を掛け合うことの喜びに気づかせる。</p>	<p>・グループ内のメンバーの技能を把握し、教えあうなど協力して練習するよう指導助言する。</p> <p>・グループ全体のレベルアップを目指せるよう、意識させる。</p>	<p>・グループ内で協力して、コート整備や道具の後片づけをしようとしている。(関・意・態)</p>
ま と め 5 分	<p>◆本時のまとめ及び次時の予告</p> <p>・本時の活動を振り返り、次時の見通しを持つ。</p> <p>◆整理運動</p> <p>・ストレッチ、徒手体操を行う。</p> <p>◆集合及びあいさつ</p> <p>・整列、あいさつ</p>	<p>・共通する課題を指摘し、次時への見通しを持たせる。</p> <p>・良い点を指摘し、目標到達に応じて、早い段階でのゲーム導入を示唆するなどモチベーションの高揚を図る。</p>	<p>【学習ノート】</p> <p>・テニスの特性について書き出したりしている。</p> <p>・自分やパートナーの個人的技能について、理論的に分析したり、書き出したりしている。(知・理)</p>